

取扱説明書

【初めに必ずお読み下さい】

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
 ※取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使い下さい。
 ※開封後すぐ、取り付け作業前に、必ず内容部品の破損、部品表にて梱包物の数量等を確認して下さい。

安全に関する表示	
 警告	指示に従わない場合、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの。
 注意	指示に従わない場合、傷害に至る可能性物的損害の発生が想定されるもの。
 高温注意	表記の注意を告げる物です。

 警告	- 本製品は、適応車両、目的用途以外の使い方で使用しないで下さい。サーキット走行やジムカーナなどでの使用は想定しておりません。 - 本製品の取り付けは、整備資格のある方、または車両整備の基礎知識と経験のある方が行って下さい。取り扱い不注意、取り付け不良、誤使用などによる破損や事故に対して弊社は責任を負いませんのでご了承下さい。 - 本説明書は、車両のサービスマニュアルに載っている内容は割愛し、車両整備の基礎知識と経験のある方を対象に編集、解説しております。取り付けに不明点がある場合、不確実な作業は事故、破損の原因になるのでお止め下さい。 - エンジン始動時には騒音や発火、排気ガスでの中毒や汚染など、ご自身や周囲への安全の確保と、周辺へのマナーと配慮を心掛けて下さい。 - 車両への乗車前には、日常的に整備、点検を実施し、車両の各部や取り付け部品とその周辺に異常や破損、劣化が無い事を確認して使用して下さい。
 注意	- 車両整備に関する詳細は、車両のサービスマニュアルを参照して下さい。 - 他社製品との同時使用による、組み合わせや取り付け相性、機能、性能などは未確認です。 - 車体への改造や、転倒歴のある車両には取り付けできない場合があります。 - 製品の開梱時や製品の取り扱い時には、部品の端部や突起、バリなどがある場合があります。作業の際は保護手袋を使用するなど十分に注意して下さい。 - 耐熱黒塗装は素材が鉄製の場合、将来にわたって保護効果を保証するものではありません。経年劣化、塩分・薬剤の付着、急激な熱入れ等、場合によっては錆、腐食が発生することがあります。錆、腐食等を発見した場合はタッチアップを推奨します。
 高温注意	マフラーは、非常に高温になります。作業を行う際は、必ずエンジン、マフラーなど各部が冷えた状態を確認してから作業して下さい。接触によるやけどや、衣服、可燃物などに注意して下さい。

新規マフラー取り付け後の始動時の注意・表面処理の種類別	
- エンジン始動前にはパイプ部分が汚れていないか十分に確認してからエンジンを始動させて下さい。ムラやシミの原因になります。 - またサイレンサーエンブレムに保護フィルムが付いている場合は、フィルムを剥がしてから始動して下さい。剥がさないとフィルムが焦げ付きます。 - エンジン始動後は、吸音材の慣らしのため 15 分程度は慣らし運転を行って下さい。この時、白い排気ガスが出ることや、サイレンサー下部の水抜き穴から水蒸気等が出る場合がありますが、性能上問題ありません。	
黒塗装の場合	
- 有機溶剤系での脱脂を行なわないでください。塗装を痛め、剥がれや溶解の原因となる恐れがあります。 - 汚れが付着した場合は中性洗剤で洗って下さい。 - エンジン始動後はいきなり高回転まで回さず、塗装の定着を目的にアイドリングで暖機運転を行って下さい。 - 急激に熱を加えますと塗装内の揮発成分が沸騰し、気泡状の膨れや、割れ、剥がれの原因となります。 - 始動直後はマフラー表面より白煙が上がりますが、これは塗料がマフラーに定着する際に発生するもので、塗料が完全に定着するまで（白煙が上がらなくなるまで）5 分～10 分程度（季節、気温による）、熱を加えその後、一度自然冷却して下さい。 - この後の走行も 50km 程度までは慣らし運転を行って下さい。	
メッキの場合	
マフラーに錆のような黄褐色のシミが付いている事がありますが、これは錆ではなくメッキ処理をする際の薬品の残りです。製品出荷時に十分管理しておりますが、万が一このメッキ液が付いている場合は市販のパーツクリーナー等で洗浄してご使用下さい。	
ステンレス、チタンの場合	
- エンジン始動前にマフラー表面を十分に脱脂して下さい。（ガソリン・灯油は不可）汚れが焼き付き、取れなくなります。 - 走行後のマフラーに付いた油分や汚れは市販のパーツクリーナー等を使用して取り除いて下さい。研磨による除去は表面にムラを発生させる原因となりますのでご注意ください。 - 素材の地肌をそのまま使用した製品です。素材の特性上、排気ガスにより高温になる部分には焼け色が発生します。	

アルミの場合

- モンスターサイレンサーなど一部のアルミ製品は、アルミ本来の風合いを楽しんで頂く為に表面に研磨加工以外のメッキ、コーティング処理をしておりません。適切にメンテナンスをすることでアルミ本来の風合いを保つことが出来ます。
- 土や鳥の糞、虫などの汚れが付着した場合、中性洗剤で洗浄した後に、流水でよく洗い流し柔らかいウエスで拭き取って乾燥させて下さい。
- 油分が付着した場合、パーツクリーナー等をウエスに染み込ませ、優しく拭き取って下さい。
- サイレンサー内部に水分を貯めたままにしていると腐食の原因となる場合があります。できるだけ短距離走行は避け、サイレンサー内部を乾かすようにして下さい。
- 表面に軽い腐食がみられる場合、3M 社製、スコッチブライト（800 番相当）の研磨パッド等を使用し、研磨目に沿って磨いてください。軽い傷を消す事も出来ます。
- アルミ素材のため酸化・接触・電食等による腐食や、見た目の変化等の経年劣化は保障対象外となります。

サイレンサーのお手入れ

- 汚れは中性洗剤で洗って下さい。油分が付着しているなど、汚れたまま走行しますと変色する事があります。
- シンナーや有機溶剤はエンブレムの塗装を侵しますので使用しないで下さい。
- 吸音材、消音機構部材は使用環境や走行状況により耐久性が異なります。ご使用の際は出来る限り短時間のエンジン始動を避け、始動の熱でマフラー内部に溜まった水分を蒸発させるよう心掛けて下さい。

マフラーのセッティングについて

- モリワキストリート用マフラーは、すべてスタンダードの状態にて性能が発揮されるように設計されています。したがってマフラー装着にともなうインジェクションなどのセッティングの必要はありません。
- マフラー交換に伴う性能悪化が見られる場合は、まずエアクリーナーやプラグ等を整備してもう一度確認して下さい。

JMCAについて

全国二輪車用品連合会（JMCA）は、違法改造部品問題が直接の設立動機となり、警察庁をはじめ、国土交通省の指導のもと不法製品一掃とその製品に歯止めをかける活動をしています。

「JMCA認定プレート」にて認可されたマフラーは、（財）日本車輛検査協会の公認検査を受け法規制値をクリアしたうえ、安全をみこした自主規制をも合格した製品です。

メンテナンスについて

マフラーボルトの緩み、排気漏れ、転倒による取り付け不良などを定期的に点検して下さい。

走行による汚れは、市販の中性洗剤等をご使用下さい。

車検の際は、付属の「排出ガス試験結果証明書」または「純正触媒使用確認書」が必要となりますので持参してください。

本説明書は末永く保管し、メンテナンス等の機会には、活用するようにして下さい。

本説明書は、製品の譲渡時には部品と同様に、お渡し引継ぎください。

製品上の問題点、取付け時の不明点等がありましたら、お気軽にお電話にてお問い合わせ下さい。

記載内容、価格、仕様等は、製品改良のため、予告なしに変更する場合があります。

株式会社モリワキエンジニアリング

〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町 6656-5

Tel 059-370-0090 Fax 059-370-0152

WEBSITE <https://www.moriwaki.co.jp>

お問い合わせ先：info@moriwaki.co.jp

MORIWAKI ZERO WT/ANO FULL EXHAUST SYSTEM

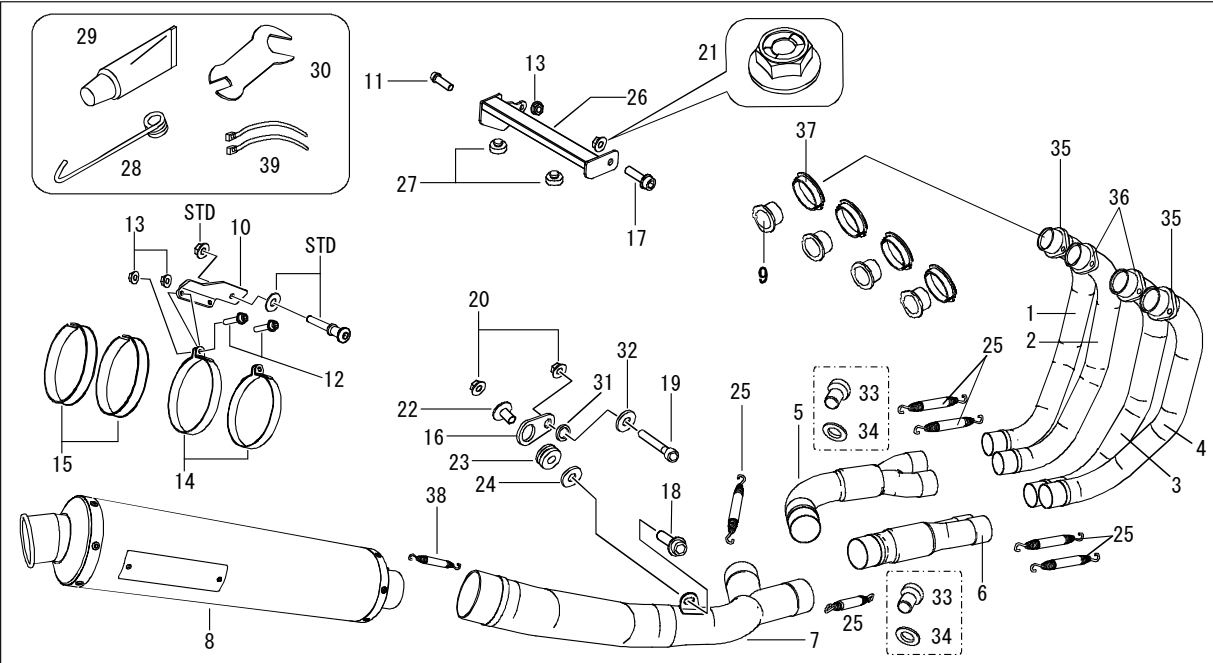
'14-17 CB1300SB(01810-L21M1-00/01810-L31M1-00)

'08-17 CB1300SB / '08-13 CB1300SF(01810-L21M0-00/01810-L31M0-00)

△この説明書は作業前に必ず読んでください。

本説明書は保管し、メンテナンス等の際に参照するようにしてください。

【構成部品】



図中の部品番号「STD」とは、純正部品の事であり、純正部品を流用して取付ける意味です。

No.	部品番号	商品名	入数	単価(税込)
1	18110-631M1-00	フロントパイプ #1	1	¥23,100
2	18120-631M1-00	フロントパイプ #2	1	¥23,100
3	18130-631M1-00	フロントパイプ #3	1	¥23,100
4	18140-631M1-00	フロントパイプ #4	1	¥23,100
5	18210-631M1-00	ミドルパイプ L	1	¥34,100
6	18220-631M1-00	ミドルパイプ R	1	¥34,100
7	18230-631M0-00	テールパイプ (CB1300 SF)	1	¥42,900
	18230-631M1-00	テールパイプ (CB1300 SB)	1	¥42,900
8	18910-L21M0-00	サイレンサー (WT)	1	¥69,300
	18910-L31M0-00	サイレンサー (ANO)	1	¥69,300
9	18117-L3181-00	マウスピース インナーカラー	1	¥1,320
10	18940-L31M0-00	バンドステー ('14-)	1	¥2,310
	18940-L31M1-00	バンドステー ('08-'13)	1	¥2,310
11	972010-06015	フランジキャップボルト 6×15	1	¥132
12	972010-06020	フランジキャップボルト 6×20	1	¥132
13	982010-06000	フランジナット 6	1	¥116
14	18931-L3167-00	サイレンサーバンド	1	¥1,320
15	A00BR999-1190	バンドラバー	1	¥550
16	18240-L3190-00	テールパイプサブステー	1	¥825
17	972010-08015	フランジキャップボルト 8×15	1	¥132
18	972010-08030	フランジキャップボルト 8×30	1	¥132
19	96601-08050-90	キャップボルト 8×50	1	¥319

No.	部品番号	商品名	入数	単価(税込)
20	982010-08000	フランジナット 8	2	¥110
21	980010-08000	フランジロックナット 8	1	¥110
22	0312-11250-F010	グロメットカラー	1	¥352
23	0312-17250-DR00	グロメット	1	¥308
24	0311-08250-5100	カラー25x8x5	1	¥605
25	0A02-08709KK11	スプリング(SUS)	6	¥759
26	50560-L3190-01	スタンドストッパー	1	¥2,750
27	50524-MN8-000	スタンドストッパーラバー	2	¥405
28	3A32-00000-00T0	スプリングブラー	1	¥220
29	860-806-0600	ME30 (シールボンド)	1	¥660
30	3111-00612-0400	バンドクリップ	1	¥189
31	0311-08140-4100	カラー14x8x4	1	¥550
32	030A-08160-1100	ワッシャー小8	1	¥61
33	97010-12010	キャップボルト M12x10	2	¥550
34	030A-12180-1300	パッキン	2	¥330
35	18112-H01G1-00	Exフランジ #1,#4	2	¥1,870
36	18112-631M1-00	Exフランジ #2,#3	2	¥1,870
37	18113-H01G1-00	ジョイントカラー38	4	¥1,100
38	18335-90607-20	スプリング ショート	1	¥572
39	90650-35150-10	セルフロックバンド150 BL	2	¥44
		取扱説明書	1	-
		自動車排出ガス試験結果証明書	2	-

商品詳細			注意事項
製品名	ZERO		① 作業時は、ケガ、火傷などを未然に防ぐ為、軍手等を着用して下さい。 ② 作業時は、エンジン等が十分冷めた事を確認してから行って下さい。 ③ 走行時に部品脱落などの事故が発生しないよう、各部の締め付けを乗車前に十分確認して下さい。 ④ 走行中の振動により、ボルト/ナット類が緩む事がありますので、必要に応じて増し締めを行って下さい。 ⑤ 取付け後、排気漏れの確認等でエンジンを始動する場合、周囲の安全を確認し、また通気の良い場所で行って下さい。 ⑥ 車両にステップ、スイングアーム等の改造(モリワキ製品除く)がありますと装着できない場合があります。また、不正な改造によるマフラー破損等の返品はお受けしておりませんので ⑦ らかじめご了承下さい。
適合車種	HONDA CB1300SB/SF 形式：EBL-SC54		
インジェクション	純正状態		
エンジン仕様	純正状態		
認証番号	JMCA1114007056		
排気音量	近接	90 dB	
	加速	81 dB	
製品重量	6.3 kg	STD 12.8 kg	
オイル交換	本製品脱着不要		
オイルフィルタ	本製品脱着不要		
センタースタンド	本製品脱着不要		

【使用工具】

スパナ10、12mm， ソケットレンチ12mm
 六角（ヘキサゴン）レンチ6、8mm
 トルクレンチ， 軍手， ウェス， 脱脂洗剤

【STD部品取外し、取付け準備】

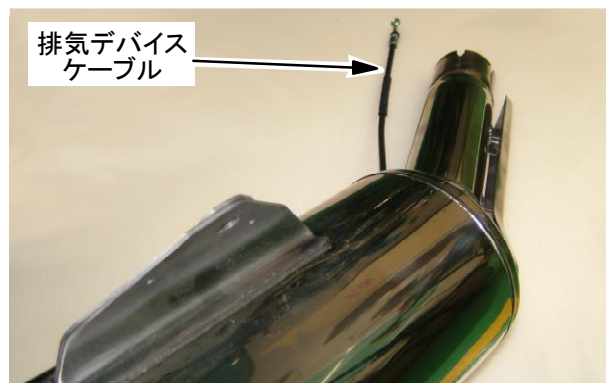
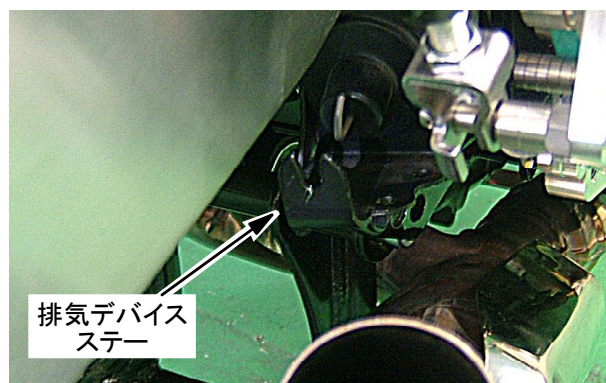
- ① 構成部品図と梱包内容物が合っているか確認します。
- ② センタースタンドを立て、排気デバイスのダイヤフラムのステーからケーブルを取外します。
※ '08- '13モデルのみ。
- ③ 純正マフラーバンド、サイレンサーステー部のボルト、を緩め、サイレンサー部を取外します。

取外した、純正サイレンサーステー部のボルト、ナット、ワッシャは再使用します。

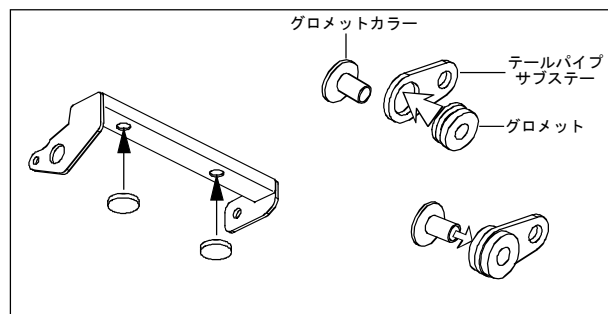
- ④ ラジエーター下側のボルト2本を外します。
- ⑤ エンジンポート部のエキゾーストフランジ（以降EX. フランジ）部、エンジン下部のステー部のナット、ボルトを緩め、マフラーを取外します。

⚠ 注意

純正マフラーは大変重いのです。取外し時の落下によるケガ、破損等に十分注意して下さい。

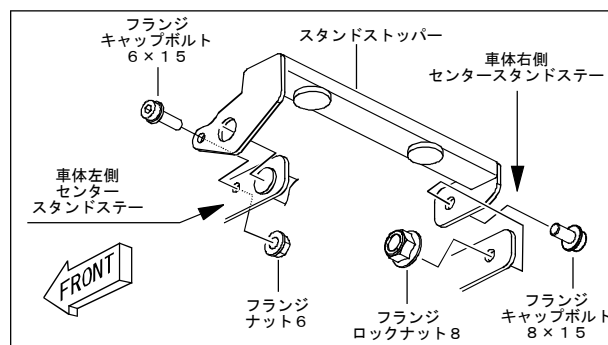


- ⑥ スタンドストッパーに付属のスタンドストッパーラバーを2個取付けます。
- ⑦ テールパイプサブステーに付属のグロメット、グロメットカラーを取付けます。



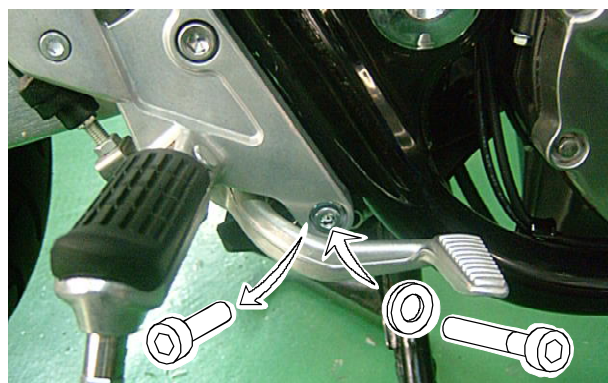
【製品の取付け】

- ① スタンドストッパーを付属のボルト、ナットで取付けます。



- ② テールパイプサブステーの取付け。

- 右側のステッププレートを固定しているキャップボルト8×36を付属のキャップボルト8×50とワッシャー小に交換します。
- このボルトのフレーム内側に飛び出した先端に、付属のカラーとテールパイプサブステーを組込み、仮止めします。

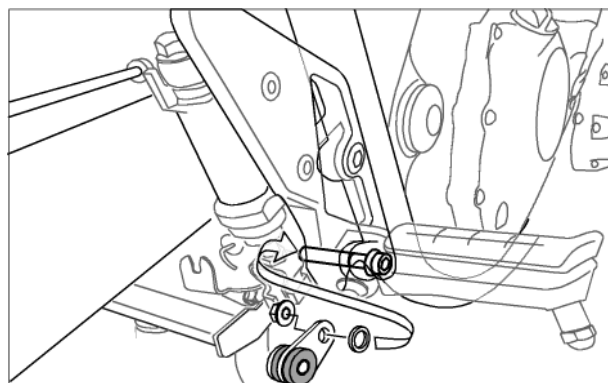


アドバイス

テールパイプサブステーの組込み位置は、非常に狭いので下記の手順をお勧めします。

- キャップボルト 8x50 とワッシャー小をステッププレートに挿入し、フレーム内側から7mm程度突き出た位置まで締付ける。
- 付属のカラーとテールパイプサブステーとナット8を一緒にボルト先端に通す。
- フランジキャップボルトを六角レンチで回転させナットもボルトを通していく。
- ボルトの頭が奥まで入ったら、締付けてステッププレートを固定させる。
- ナット8をスパナで締付け、テールパイプサブステーを固定させる。(ただし完全な締付けは、後述の「マフラーの本締め」の時にやる。)

フロントパイプにマウスピースインナーカラーを差し込み、純正の袋ナットを使用して、車体に仮止めします。

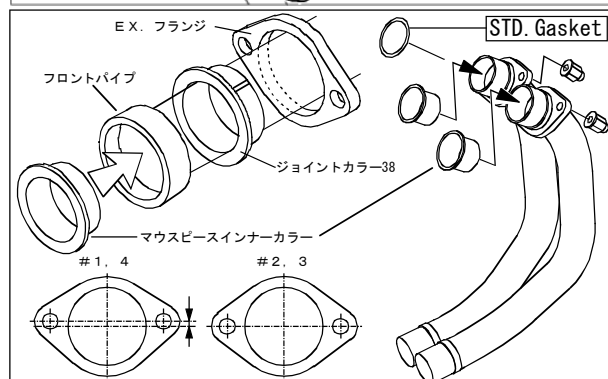


アドバイス

フロントパイプ#1と#4はフランジの穴が中心線よりずれていますので、穴位置に注意して下さい。

仮止めは、かなりゆるめにしてください。テールパイプ組み付け時の作業性を良くする為です。

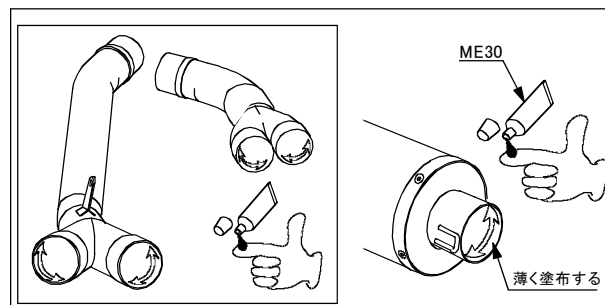
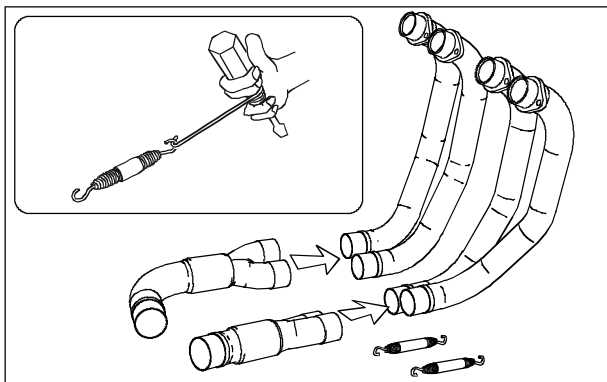
フロントパイプの取付け時にガスケットが劣化、損傷していないか確認をしてください。



③ ミドルパイプの取付け

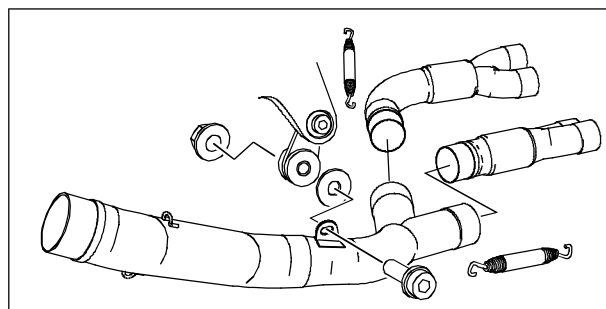
- ・ O_2 センサーをミドルパイプに取り付けます。
必要に応じて付属のセルフロックバンドを使用し、 O_2 センサーのハーネスを固定して下さい。
※'08-'13 モデルに使用する場合ミドルパイプに付属の[ワッシャー]及び、[キャップボルト M12x10]を取り付けて下さい。

- ・ ジョイント部に付属のME 30を薄く塗布し組付けます。
- ・ 付属のスプリングプラーでスプリングを取付けます。



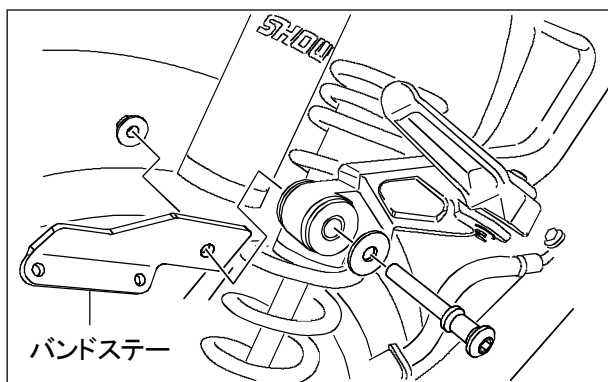
④ テールパイプの取付け

- ・ ジョイント部に付属のME 30を薄く塗布し組付けます。
- ・ 付属のスプリングプラーでスプリングを取付けます。
- ・ テールパイプのステーをテールパイプサブステーに付属ボルト、ナットで付属のカラーと共に仮止めします。



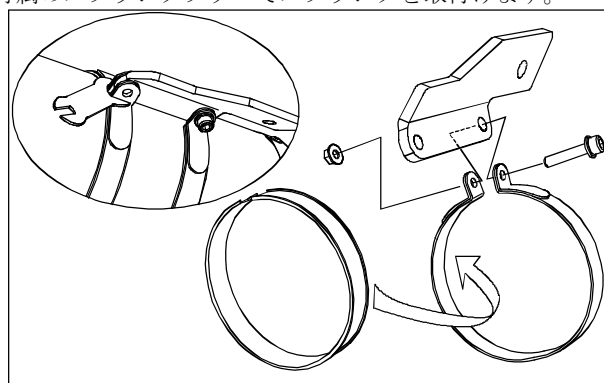
⑤ サイレンサーバンドステーの取付け

- ・ STD ボルト、ワッシャー、ナットを使用して、バンドステーをタンデムステップに仮止めします。



⑥ サイレンサーの取付け

- ・ ジョイント部に付属のME 30を薄く塗布し組付けます。
- ・ 付属のスプリングプラーでスプリングを取付けます。

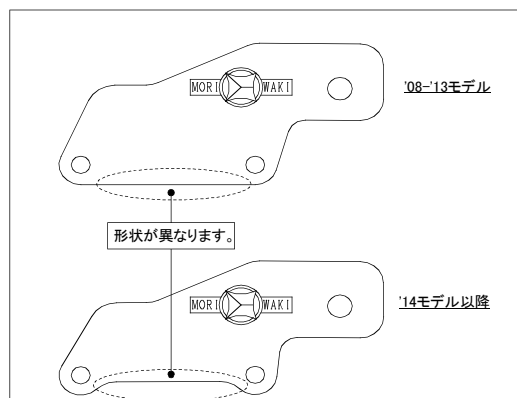


⑦ サイレンサーバンドの取付け

2本のバンドが平行になるように注意して下さい。
※'08~'13モデルと、'14モデル以降とでは使用するバンドステーが異なりますので注意して下さい。

⑧ 下記の順序で本締めをします。

- I EX. フランジ
- II テールパイプステー
- III サイレンサーバンド
- IV バンドステー



- ⑨ 最後にE Xパイプ、サイレンサーの脱脂を行って下さい。
脱脂を行わない場合、パイプの焼けにムラができます。

⚠ 確認してください。

- ・ マフラーが各部に干渉していないか。
- ・ パイプのジョイント部が奥まで差し込まれているか。
- ・ ボルト、ナットの締め忘れ、ゆるみがないか。

【確認】

エンジン始動直後の確認

- ① ジョイント各部から排気漏れがないか確認します。
- ② サイレンサー出口から白煙が出ますが、15分程度で消えます。
- ③ サイレンサー入り口の下部より水が出る事がありますが、性能上問題ありません。

運転後の確認

各部ボルト、ナットの緩みがないか確認してください。

※ サイレンサー前方下部に水抜き穴があり、ここから水蒸気、水滴等が出る場合がありますが、性能上問題ありません。

⚠ 注意

取り付け後、排気漏れの確認等でエンジンを始動する場合、周囲の安全を確認し、また通気の良い場所で行って下さい。
熱による火災、排気ガスによる中毒に気をつけてください。
作業時は、エンジン等が十分冷めた事を確認してから行って下さい。
火傷に気を付けて下さい。

【セッティングについて】

この製品は、スタンダードのエンジンの状態で性能が発揮されるように設計されています。
したがってマフラー装着に伴うキャブレター、インジェクターなどのセッティングの必要はありません。
万が一マフラー交換に伴う性能悪化が見られるような場合は、すぐに使用を中止し取付け箇所及び周辺を再度点検し、
取付け状態や各部機能をご確認下さい。状況が変化しない場合は販売店、整備工場等にご相談下さい。

【JMCAについて】

全国二輪車用品連合会（JMCA）は、違法改造部品問題が直接の設立動機となり、警察庁をはじめ、国土交通省、経済産業省の指導のもと、不法製品の一掃とその製品に歯止めをかける活動をしています。「JMCA認定プレート」にて認可されたマフラーは、（財）日本車輛検査協会の公認検査を受け法規制値をクリアしたうえ、安全を見越した自主規制をもクリアした製品です。走行の際は付属のJMCAカード及び、自動車排出ガス試験結果証明書を携帯してください。
自動車排出ガス試験結果証明書は、車検の時に必要となりますので紛失しないようにして下さい。

※排出ガス試験結果証明書は'08-'13モデル用（二輪車モード）と、'14-モデル用（WMTCモード）の二部が同梱されています。
マフラーを取り付ける車両の年式を確認し、該当する書類を保管して下さい。

【メンテナンスについて】

- マフラー取付けボルトの緩み、排気漏れ、転倒による取付け不良などを定期的に点検して下さい。
- パイプのお手入れにつきましては、十分脱脂を行っていただくことが前提となります。走行による汚れにつきましては、市販のピッチクリーナー等をご使用下さい。
- 本製品は、装着したままオイル交換が可能です。

本説明書は末永く保管し、メンテナンス等の機会には、活用するようにして下さい。

製品上の問題点、取付け時の不明点等がありましたら、お気軽にお電話にてお問い合わせ下さい。

記載内容、価格、仕様等は、製品改良のため、予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承下さい。

株式会社モリワキエンジニアリング

〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町 6656-5

Tel 059-370-0090 Fax 059-370-0152

HP <http://www.moriwaki.co.jp>